

## 議 事 錄

## ファッションビジネス科 教育課程編成委員会ミーティング

日 時	2024年7月26日 (金) 14:00~14:30 オンライン
場 所	東京服飾専門学校(3FH1) 豊島区巣鴨1-19-7
企業出席者	一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会 事務局長 境泰志様
	日本アパレル工業技術研究会事務局長 田辺修一様
	有限会社ビーシーコスチューム代表取締役 太田えりこ様
	株式会社クレヨン人事営業部マネージャー 吉田愛里様
	鷺 典子 造形科学科長
	石川 誠 ビジネス科学科長
欠 席 者	3名
概要	<p>1.教育課程編成委員会の学内位置付けと、教育内容向上への取り組み</p> <p>2.教育・育成内容向上に関する取り組み(成果・課題)</p> <p>以上について業界の求める人材を学科として育てているか、意見を収集して改善を図る</p>
内容	<p>①挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程編成委員会の学内位置付けと、教育内容向上への再確認</li> <li>・当校教育理念の共有と時代・価値変化に伴う意義説明</li> </ul> <p>②職業実践講座授業の実施途中結果</p> <p>石川誠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程編成委員会の趣旨を説明。</li> <li>・今回の教育編成委員会の目的と議事項目の紹介。</li> <li>・出席者紹介</li> </ul> <p>ファッションビジネス科</p> <p>前回会議でご意見としてあった就業希望職種を見据えた(逆算の考え方)カリキュラム編成の必要性を鑑み 本年度(令和6年)よりビジネス科でも選択科目を設定し、総合職、メディア・ECと分け、基本授業内容と 将来をしっかりと見据えることのできる授業内容の差別化を強化している。</p> <p>多くの可能性、選択肢が生まれる業界故、一つでも多くの職種就労でも基礎力・実践力を身につけた状態 で就業スタートが切れるように配慮した取り組みだと認識している。決して選択分野だけの就職という意味合 なく、2年間の学習を経て基礎体力の中に強みを作ることを目的としており、汎用性・多様性を持った人材育 行することを最重要課題として位置付けている。</p> <p>産学連携実習</p> <p>①(株)acca international 様 課題:E-Commerceに関する知識・実務学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・E-Commerceの基礎知識</li> <li>・生産工場(国内外)からウェブサイトへの掲載実務</li> <li>・購買プロセスから配送業務</li> <li>・返品・返金・交換・クレーム等のCS実務</li> <li>・E-Commerceに必要な知識・権利・法律・コンプライアンス</li> <li>・フルフィルメントとは? 第3者企業による物流倉庫との違い</li> <li>・学習レポート作成</li> </ul> <p>成果内容:実務内容と共に、実際職場で使われる語彙(英語)とコミュニケーション能力の重要性</p> <p>②(株)BIGI 課題:百貨店店舗での接客知識・スキル学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要百貨店店舗リサーチ・質疑応答</li> <li>・人間観察・イメージトレーニングの重要性</li> <li>・社会人マナー・コミュニケーション能力とは?</li> <li>・(同社研修トレーナー担当者による)ロールプレイング実習</li> <li>・学習レポート作成</li> </ul> <p>・成果内容:百貨店(リピーター・富裕層買い周り環境)との環境と基本的接客スキルの習得</p>
研修活動	<p>・教員教職課程研修に出席(ファッションビジネス科教員 田中受講中)</p> <p>2023年6月~11月まで全25回。研修内容はレポート作成。夏、職員会議にて前期内容のハイライト部分を 容プレゼンテーションとして実施。継続的に出席者を変え、参加していき、多岐にわたる視点で専修学校と 機関を取り巻く知見・施策を柔軟性を持ち向上させていく</p>
まとめ (総括)	総合的(造形科・ファッションビジネス科)に実施内容は良く理解できた。現在の業界の大きな課題は3つ。(Commerce売上増幅 ②OMO (Online merges Offline):在庫の一元化 ③AI。 デジタルプラットフォームの 活用方法を業界全体が試行錯誤し模索している状況。幅の広い基礎体力を持つ人材の確保・アイデアは つけ重視か重視されかっていふので 引き続き 沢田性のあス持業を実施して頂きたい。(IAFIC 増重務局長)

「いふ事女」ふ女ホシムノレバ「アソノ」、ソシルシ、ソシリエソノアソヌ木シ大廻レテヨシハニ。ヨシハニシテモカハリク

とて、

いでは  
成を

## 内 研修 教育

作成者  
石川誠